

いしかり「防火」通信

石油暖房機正しく使用していますか？

記録的な猛暑となった夏が終わり、ストーブを点け始める季節になりました。ストーブなどの石油暖房機は誤った使い方をすると火災の原因になる恐れがあります。今月号では石油暖房機を正しく使うポイントをご紹介します。

ポイント1

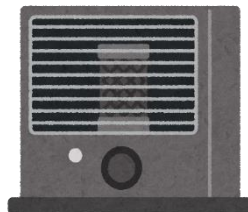
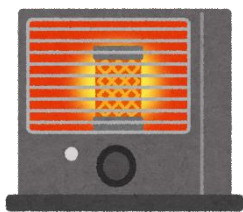
給油の際はまず消火！
給油後はタンクの灯油漏れがないか確認した上でセットしてください

給油の順番

- ①消火
- ②火が消えたのを確認してタンクを抜く
- ③給油
- ④しっかり蓋が閉められていることを確認
- ⑤口金を下にして漏れがないことを確認しセットする

注意点

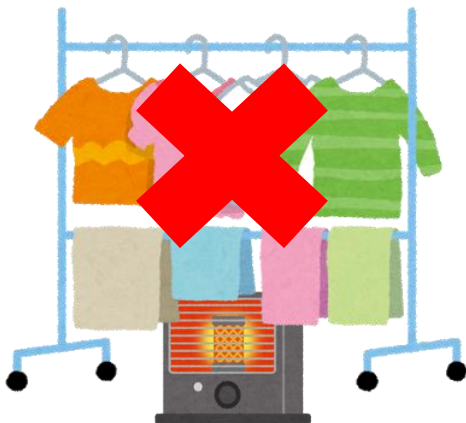
- ・暖房機の火が消えたことを確認してから、給油をしてください。消火せずに給油すると火災の恐れがあります。
- ・給油後、カートリッジタンクの口金は確実に締め、灯油漏れがないかを確認しましょう。



漏れがないか
確認！

ポイント2

衣類などの乾燥はやめましょう



注意点

- ・石油ストーブの上に衣類などを干して乾燥させないでください。万が一衣類が落ちた場合、火災の原因になる恐れがあります。
- ・干していたものが乾燥して軽くなると、ストーブの熱の上昇気流で外れて、ストーブの上に落ちてしまうことがあります。

ポイント3

カーテンや布団、紙類など燃えやすい物をそばに置かないでください

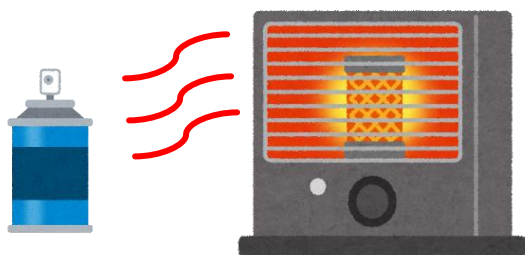


注意点

- ・燃えやすいものの近くで使うのはやめましょう。
 - ・石油ストーブの近くや器具内にマッチやライターを置くのはやめましょう。
- いずれも火災の原因になる恐れがあります。

ポイント4

スプレー缶を暖房機の上や温風のアたる場所に置かないでください

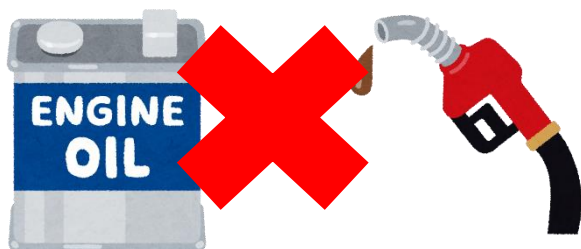


注意点

- ・熱で缶の圧力が上がり、爆発する可能性があります。

ポイント5

農機具などの燃料用のガソリン・混合油は絶対に使用しないでください



注意点

- ・使用燃料以外の燃料を使用すると火災の原因になります。



石油暖房機と北海道の冬は切っても切り離せません。正しく使用し、厳しい寒さを乗り越えましょう。ご不明な点は下記まで問い合わせください。



発行：石狩消防署予防課

〒061-3211 石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ



ツイッター